

『夏休み愛知用水探検ツアー』

水土里ネット愛知用水

平成27年8月13日（木）、東郷町の親子15名を対象に、水源地である牧尾ダムを訪問する「愛知用水探検ツアー」を実施しました。「愛知池の水がどこから来るのか」をテーマに、水源地に感謝するとともに愛知用水を身近に感じてもらうことを目的として行いました。

出発にあたって、水土里ネット愛知用水の石川理事の挨拶がありました。一行は、バスに揺られ、木曾川の流れを車窓から眺めながら長野県王滝村にある松原スポーツ公園に到着しました。

スポーツ公園では、王滝村役場の村おこし推進課より村の説明や長野西部地震により牧尾ダムへ堆積した土砂を松原スポーツ公園に活用している話をして頂きました。

その後どんぐり棒パン焼き体験をし、王滝村職員より焼き方の説明を受け、各々パン生地をのぼし、棒に巻き付けて炭火で焼きました。親子で協力して、棒パンが焦げないようきつね色に焼き、おいしく頂いていました。

棒パン焼き体験以外にも、間伐材に焼き印を押したコースターを作る体験があり、子供達はとても楽しそうにしていました。

牧尾ダムでは、水資源機構の職員より牧尾ダムの説明を受けました。子供達は写真をとったりしながら、真剣に話を聞いていました。

子供達が楽しみにしていたボート周遊は、残念ながら天候の都合によって実施できませんでしたが、代わりに牧尾ダムの施設の見学をしました。子供達も興味津々に見入っている様子でした。

帰りのバスの前には愛知用水に関連したクイズを実施し、子供達は景品を嬉しそうに受け取っていました。

ツアー終了後には、参加者にアンケートを実施したところ、全員より今日の企画は楽しかったとの意見を頂き、今後も愛知用水について親子で学べる機会を作り、水土里ネット愛知用水をPRしていけたらと思います。



王滝村の説明



どんぐり棒パン焼



牧尾ダムの見学



記念撮影